

令和8年5月1日

松阪市議会議長 濱口 高志 様

松阪市議会議員 森本 哲生

視 察 報 告 書

令和8年4月28日（火）行政視察を実施しましたので下記のとおり報告いたします。

日 時：4月28日（火）13：30～16：00

場 所： 衆議院第2議員会館 北神圭朗事務所

総務省参加者：自治財政局 財務調査課 理事官 井上 秀典 様

地域力創造グループ 過疎対策室 課長補佐 細川 敬太様

財務省参加者：主計局地方財政係 主査 長久 善彦 様

＝視察テーマ＝ 総務省
過疎対策について

1. 主な議題と内容

- ①一部過疎と全体過疎での予算
- ②過疎地域の今後は
- ③特別交付税は確実に実行されているか

2. 質疑応答

- ①に対し 一部過疎と全体過疎地域での予算の差はない。しかし、津市のように算定方式で対象外になったところもある。別紙3ページの過疎地域の要件から
- ②に対し 益々東京一極集中が進むだろう。今後は、協力隊、集落支援員がカギを握る
- ③に対し 総務省としては実行されていると理解している。

3. 所感

過疎対策事業は、議員立法に基づき対策を実施されており、令和12年以降も継続されることが濃厚と考える。しかし、過疎対策の効果が如何か、ということについては、この5年間で大事であり、総務省担当者は、今回の過疎対策は、攻めの部分は「地域おこし協力隊」守りは「集落支援員」と解説。しかし

私は、外部（協力隊など）に期待しながらも地域での人材を育成することが何よりも必要と考えます。その点、総務省の考え方との違いを申し上げた。



＝視察テーマ＝ 財務省

地方財政について

1. 主な議題と内容

- ① 地方の財政状況
- ② 地方税収の状況

2. 質疑応答

- ① に対し地方財政は、国に比べて健全、東京都が突出して良い。
基金が増加、特にコロナで国が財政悪化となり地方は安定している。
- ② に対し東京都が突出して良く（資料24）格差はさらに増大。
税源の偏在是正が必要

3. 所感

財務省は、東京都に偏った税をどうするか、今後検討されてくるようである。地方の基金については、今後の検討事項か、の私の問いに対し、考えていないとの回答であったが、担当ではこれ以上の回答はできないだろう。

今回の資料が、4月24日に開催された財政制度審議会のものだけに、直近の資料として、価値はあるものといえます。

最後に、今国会で野党から要求のある補正予算については、事務方としては何ら準備には入っていないとの回答。総理の発言から察して当然の回答といえる。

